

2004年

兵庫県、新潟県、京都府での被災者支援

2004年10月、兵庫県での台風23号、新潟県中越地震と災害が相次いで起こり、毎日のようにニュースで現地の状況が伝えられました。そこで、わかさ生活で何か出来ることはないかと考え、不安の中避難所生活を強いられている方々に、社員が救援物資と義援金をお届けしました。



被災地域にも、わかさ生活のお客様やご家族が多数いらっしゃいました。

新潟中越地震には男性社員が中心となり、直接現地に向かい、各地の被害状況の確認や、現地ボランティア協会との連絡、支援物資の手配・配送を行いました。また、台風23号の被災地京都府北部・兵庫県北部には、女性社員が水害被災地を訪問し、お見舞いとともに支援活動を行いました。

<<支援内容>>

新潟県中越地震災害対策本部へ義援金300万円、カイロ72万袋をお届けしました。

また、京都府舞鶴市災害対策本部と兵庫県豊岡市台風災害義援金あてに、各125万円のほか、カイロや『北欧のブルーベリージュース』をお届けしました。

少年野球教室の開催

2003年10月、京都府北部を襲った台風23号。

その被害で突然、スポーツの練習場が使用できなくなり、夢や希望、笑顔まで失った少年達がありました。「少年達に、笑顔を取り戻してあげたい」「苦難を乗り越え、夢や希望に向かってチャレンジしてほしい」私たちのそんな想いと、地元京都出身のプロ野球選手たちの想いがひとつになり、2004年冬、少年野球教室を開催いたしました。